

INFORMATION お知らせ

秦和会 からののお知らせ

電子カルテ導入についてのお知らせとお願い

秦野病院およびはたの渋沢クリニックでは、平成30年10月1日(月)から「電子カルテシステム」を導入いたしました。

「電子カルテシステム」とは、これまで紙に記載・保存していたカルテ(診療記録)を電子化し、コンピュータで記録・管理するもので、より安全な医療の提供と業務の効率化を目指すことを目的としています。

電子カルテの導入に当たり、職員全員で十分な操作研修やリハーサルなどを行っておりますが、稼働当初は、システムの操作に慣れるまでの間、診察時間や待ち時間が長くなるのが予想されます。また、操作上の問題やシステム上の問題が発生した際には、病院職員以外の者(システム会社のスタッフ等)が、診察室内に立ち入る可能性もございますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

患者様への医療サービスの向上のため、今後とも努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

タオル類の貸し出し等入院セット変更のお知らせ

この度、秦野病院で実施しておりましたタオル等の貸出や衣類洗濯、オムツ料金につきまして、医療安全・感染管理対策の徹底や患者様の入院時に必要な日用品類の準備負担を軽減することを目的とし、入院セットを全面的に見直し致しました。平成30年8月1日より病院指定業者(株式会社柴橋商会)へ業務委託を開始しております。今後もより一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

尚、セット内容のお問い合わせ等は下記委託先へお問い合わせ下さい。

委託先：株式会社柴橋商会
利用者様専用ダイヤル 0120-312-098
(受付時間：月曜～金曜日 9：00～17：00)

成和会 からののお知らせ



平成30年11月3日(土・祝)
第39回 秦野市市民の日
にこにこパン工房
出店！

秦野市 市民の日は秦野市カルチャーパーク(秦野市平沢148)をメイン会場として、文化の日に行われる市内最大級のイベントです。

市民の日当日は、
店舗で焼いた出来立てパンを販売します。
ぜひお立ち寄りください。



【問い合わせ先】
にこにこパン工房(秦野市清水町)
TEL：0463-84-5556

平成30年 家族教室のお知らせ

日時：11月17日(土) 午後 1:30～3:30まで
場所：秦野病院ケアセンター デイケア内

はたのグループでは、どなたでもご参加いただける家族教室を定期的に行っております。

お申し込みは不要ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

講演：「こころの障害と就労」
講師：秦野病院 院長 笠原友幸

紹介：「就労支援の実際」
説明：就労移行支援事業所りんく
職業指導員 亀倉 禎朗

発行者

はたのグループ 広報チーム
0463-75-0032
所在地：秦野市三屋131番地

編集後記

気づくともう10月。
今年もあと少しで終わりです。今年も電子カルテが稼働し、今までとは流れも変わりました。皆様に役立つようシステムを活用してまいりますので、宜しくお願い致します。(広報チーム 渡辺)

表紙写真にご協力いただいた職員

秦野病院 看護師
熊谷 理恵

病院外来で働いています。

はたのグループ広報誌 心の笑顔

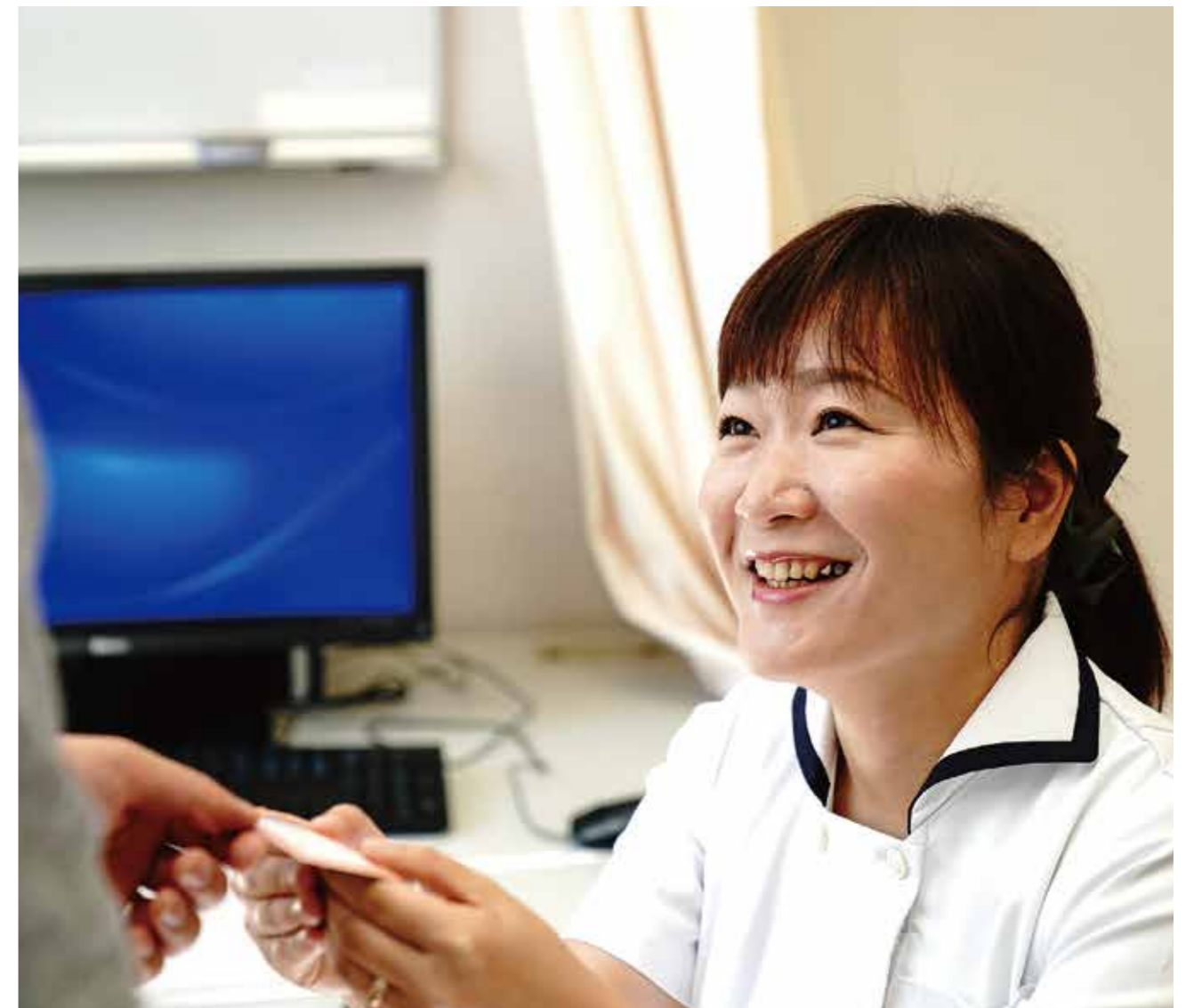
vol. 2
2018年10月

はたのグループの、今とこれからをお届けする広報誌

はたのグループ
医療法人社団 秦和会・社会福祉法人 成和会

INDEX

- 「電子カルテを導入」平成30年10月1日より・・・P1
- 「秦野病院納涼祭を開催」「心の笑顔」を皆様にお届けします・・・P2
- 「1分でわかる！職員たちのQ&Aコーナー「血液型は何型？」・・・P4
- SPOTLIGHT 職員紹介「蓑島 彩香」と「屋嘉比 康次」・・・P4
- はたのグループの事業所・・・P5
- 「せせらぎ」と「子どもメンタルクリニック」と「秦野病院3病棟」
- はたのグループのサービス 安心のサポート体制・・・P6
- INFORMATION・・・BACK PAGE
- 「秦和会からののお知らせ」と「成和会からののお知らせ」
- シリーズ はたのグループのリーダー達 vol.2「はたの林間クリニック 院長 高橋明比古先生インタビュー」・・・P3



特集

電子カルテを導入

平成30年10月1日より

対談メンバー

秦野病院 医師	龍田哲行
秦野病院 事務課課長	清水靖彦
秦野病院 看護部部長	福島義之
日本事務器株式会社	久保田英樹

院内の情報共有環境を整備し、医事体制のさらなる強化を図るために、この度、秦野病院及びはたの渋沢クリニックにおいて電子カルテを導入しました。



Q 電子カルテを導入した背景を教えてください。

A **清水：**医療機関のIT化が進む中、電子カルテの導入は避けて通ることはできません。当グループにおいても、この近年、導入のタイミングを見計らってきましたが、この度、情報環境を整備し、医療体制のさらなる強化のため秦野病院とはたの渋沢クリニックで電子カルテを導入することになりました。

日本事務器：電子カルテは患者様へのよりよいサービス提供を目指す上でも、病院、クリニックの皆様の職場が活気に満ちたものになる為の土台となるのだと言えます。ただ、そのための新しいシステムの導入、運用の見直し等は簡単なことではありません。今回の電子カルテ導入に当たりシステムに必要な打合せや各種事前準備にも院内をあげて多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

Q 電子カルテ導入にあたり、様々な職種で構成された電子カルテ導入委員会で準備を進めてきました。準備段階での不安や苦勞、実際にシステムを導入して良かったことなどはありましたか？

A **龍田：**実際に利用する現場が納得して導入しなければ、どんなに高級なシステムを導入したとしても、その能力を発揮し成果を上げることはできません。そのため、当初から電子カルテ導入の目的や狙いを明確に伝え、職員を巻き込みながらシステムの選定や導入をすすめるようにしました。

福島：使い方の講習会などを開いて頂きましたが、最初からすべての職員が完璧に使いこなせたわけではありませんでした。院内で開催した操作研修に何度も参加して、頑張った職員もいます。使い方がわからない職員がいれば、自然と得意な人がサポートしながら、なんとか使えるようになっていきました。

清水：事務課としては、オーダリングシステムで管理していた患者様情報を移行・連携できるかという点が一番の気

がかりでしたが、サポートをしていただいて、問題なくデータの連携を図ることができました。

日本事務器：7月の機器仮設置以降、職員の皆様には新しい機器の理解を深めようと積極的に講習会や操作研修にご参加いただきありがとうございました。また、旧来の機器から大切な患者様システムデータを引き継ぐ際には関係する各業者様、打合せの機会を整えてくださった病院様のおかげでデータ移行も円滑に行うことができました。



Q 今後電子カルテを利用することで期待することは何ですか？

A **龍田：**導入した目的や狙いを職員一人ひとりが意識し、まずはシステムに慣れることが重要だと思います。電子カルテになったことで日々の業務の中で蓄積された情報が迅速に院内で共有され、更にそれらの情報を分析することで、患者様へのより一層のサービス向上、院内業務の効率化に繋がっていくものと思います。

福島：病棟としても、電子カルテの導入で情報共有がスムーズになり、看護師間や他職種とも連携しやすくなるのではと期待しています。ただ私達看護師は、電子カルテ導入前も後も患者様への看護は、基本的には変わらないかなと思います。患者様やご家族様お一人お一人としっかり向き合っていくことが大切だと思います。連携がより円滑になることで、看護の質を上げて患者様に還元できるように進んでいきたいと思っています。

A **清水：**電子カルテ導入をしたことにより、カルテ保管室にカルテを取りに行く時間、探す時間がなくなります。また患者様のカルテ情報を時系列に記録、参照することができ、複数職員で同時に患者様のカルテを参照して業務にあたるができますので、各職員が患者様をより深く理解し、これまで以上に患者様と向き合える時間を増やしていけるものと期待しています。

院長を先頭に電子カルテを活用してより良い病院づくりに役立てていきたいと思っています。

はたのグループ 2018年9月2日(日)

秦野病院納涼祭を開催 ～「心の笑顔」を皆様にお届けします～

去る9月2日(日)、多くの患者様、ご家族様、地域の皆様のご参加をいただき、秦野病院(はたのグループ)の納涼祭を賑やかに実施することができました。秦野病院(はたのグループ)のモットーである「心の笑顔を皆様にお届けする」というテーマのもと、患者様のみならず地域の皆様と共に作っていくイベントを目指して、毎年実施しております。

開催日時：2018年9月2日(日) 11時30分～15時30分
来場者：約600名(大人 約400名 小人 約200名)

<祭りの趣旨にご賛同くださった関係機関・福祉団体等の皆様>
ステージ参加：フラダンスサークル「モキハナ」
他4団体(個人)

スペシャルゲスト：タレント「はなわ」さん
模擬店出店：社会福祉法人「秦野なでしこ会」他5団体
協賛品提供：一般社団法人「秦野市障害者地域生活支援機構」
他7社(団体)



たのグループが目指している「利用者様、患者様とのつながり」そのものだと思います。そこで、納涼祭の中で、皆様にお聞きいただきたいと思い、RUUさんに歌っていただくこととなったのです。

五輪真弓さんの「心の友」をご存じですか・・・

秦野病院 院長 笠原友幸



9月2日の日曜日、はたのグループ納涼祭が秦野病院で開催されました。利用者様、患者様、ご家族様をはじめ、地域の皆様に大勢お集まりいただき、誠にありがとうございました。また、納涼祭の趣旨にご賛同をいただき、ショップの出店や

協賛品をご提供いただいた団体様、企業様に厚く御礼申し上げます。納涼祭当日は朝から雨模様で、ステージや模擬店など、屋外で行えるかどうか直前まで気を揉みましたが、ゲストの皆様がステージに登場する頃は日差しが差し込んで、無事に最後まで行うことができました。スペシャルゲストとしてお招きした「はなわ」さんには、楽しいトークと家族愛溢れる歌を披露していただき、ほのぼのとした気持ちを味わうことができました。

ところで、祭りの中で司会を務めていただいた歌手のRUUさんに、「心の友」という歌を唄っていただきましたが、皆様はご存じでしたか。実は、前回の広報誌を見た知人から、この五輪真弓さんが唄った「心の友」という歌のことを教えてもらいました。その知人は、仕事でよくインドネシアを訪れるのですが、インドネシアでは、現地の人々が日本人を見ると、すぐにこの「心の友」を唄ってくれるそうで、大変有名な歌なのだそう。調べてみると、優しいメロディはもちろんです、何よりその歌詞の内容が、まさに私たち秦野病院、は

「心の友」 作詞・作曲 五輪真弓

- | | |
|--------------|----------|
| 1. あなたから苦しみを | 奪えたその時 |
| 私にも生きてゆく | 勇気がわいてくる |
| あなたと出会うまでは | 孤独なさすらい人 |
| その手のぬくもりを | 感じさせて |
| 愛はいつもララバイ | 旅に疲れた時 |
| ただ心の友と | 私を呼んで |
| 2. 信じ合う心さえ | どこかに忘れて |
| 人は何故過ぎた日の | 幸せ追いかける |
| 静かにまぶた閉じて | 心のドアを開き |
| 私をつかんだら | 涙をふいて |
| 愛はいつもララバイ | あなたが弱い時 |
| ただ心の友と | 私を呼んで |
| 愛はいつもララバイ | 旅に疲れた時 |
| ただ心の友と | 私を呼んで |

いかがでしょうか？ 私たちも皆様から「心の友」と呼ばれるよう努力してまいります。



<シリーズ>

はたのグループのリーダー達 vol.2

はたの林間クリニック
院長

高橋 明比古

TOP
INTERVIEW

中央林間にある「はたの林間クリニック」の運営を統括する高橋明比古院長。クリニックにおける多忙な診察の傍ら、法人理事として、はたのグループ全体の方向性等にも常に目をかけてくださっています。豊富な知識、経験に基づいた的確なご指導と温かい人柄で、患者様・職員からの信頼は絶大です。そんな先生から一言いただきました。



精神科医療に取り組んで

秦和会を中心とした各クリニック、各施設の広報誌の第2号が発行されることになり原稿依頼があった。通常であれば、クリニック、及び私の診療上の理念、信念またクリニックの現況や今後の方向性について記すのが一般的であると思われる。

しかし、この歳まできちんと診療理念について考えたことがない。精々、治してやるぞと気負い過ぎない事、寄り添う事が大切と思っている程度である。そこでこの原稿では自己紹介の代わりに簡単な私の職歴について記そうと思う。

大学院での研究

私は昭和54年に医学部を卒業しその直後より大学院に進学した。大学院の期間は4年であったが、1、2年の業務内容は他の研修医と同様で入院患者の受け持ち医として働いていた。当時の医局の研修方針はスペシャリストよりジェネラリストを育成する事で精神疾患全般について教育、指導を受けた。大学院での研究内容は電気生理学的内容であり、その実験内容から1年間静岡てんかん・神経医療センターに出向研修を受けた。この関係から現在も患者さんが時々クリニックで紹介されてきたり、センターへ患者の診察、治療を依頼することがある。

その後、国立病院機構相模原病院に2年間出向しこの時の関係で現在も同院の脳波測定業務に携わっている。

大学病院での医療

2年後に大学に帰局した時には、新しい精神科病棟が稼働しており大学の精神科にしては珍しく、隔離室、デイケアなどを備えており、精神科救急、措置入院など神奈川県内の基幹病院として活動していた。そのため私も措置入院などの業務に係わるようになった。また大学では診療、教育、研究などと多岐であったが、静岡てんかん・神経医療センターでは研修を受けた事もあり他の医師と比較するとてんかんの診療が多かった。大学には約20年間在籍していたが、在籍時代の後半では教授が精神薬理学を専門としていたことから、抗精神病薬、抗うつ薬、抗てんかん薬などの向精神薬の開発に携わることが多かった。特に第1相試験を担当することが多くこの時の経験が現在でも診療上で役立っている。

< はたの林間クリニックでの取り組み >

現在、クリニックでは精神疾患を持つ方の治療に加えて、リワークデイケアを開設し、多くの方の復職への取り組みを支援しています。

1分でわかる! みんなのあれこれ、質問してみました。

職員たちの Q&A コーナー

QUESTION & ANSWER

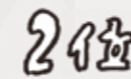
Q. 血液型は何型?

A.



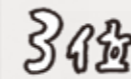
1位 A型 61人

A型は掃除上手、片付け上手としきりに褒められて育ちました。今では片づけても大事にとっておき、捨てきれない女に育ちました。



2位 O型 46人

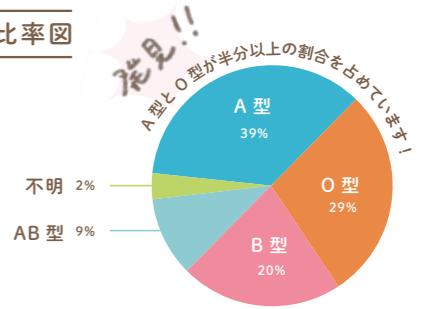
海外だとO型が几帳面な性格と思われる国もあるらしいです。



3位 B型 32人

A型になりたいくて、A型の研究をしたら「A型」にみられるようになった頃がありました。でも今は面倒くさいので「B型」で十分です。

回答比率図



その他血液型あるある回答!?

- A型** ・姑のような注意ばかりしてしまう。
- B型** ・適当な人と思われる。
- O型** ・大雑把だけど変なところがすごく気になる。
- AB型** ・献血に行くときありがたがられる。



職員紹介 STAFF INTRODUCTION

はたのグループではたらくスタッフについてご紹介!



休日は家事や読書、ゲーム、ペットの世話などしています。



医療法人社団 秦和会 デイサービスくつろぎ介護福祉士 勤務4年

養島 彩香 MINOSHIMA AYAKA

仕事の楽しさは何ですか?

利用者様とレク等を通じて、喜びを共有できること。

はたのグループの良さは?

社会復帰をお手伝いできるサービスが多く、各利用者様に合わせた適切なサービスを行うことができること。

最後に皆様に一言どうぞ

これからも利用者様のために、全力で頑張っていきますので、よろしく願い致します。



休日は散歩をしています。星を数えることで自分も輝く、そんな気分になるんだ。



社会福祉法人 成和会 にこここパン工房主任 勤務3年

屋嘉比 康次 YAKABI KOJI

仕事の楽しさは何ですか?

困難を乗り越え最後にみんなの笑顔を見た時に喜びを感じます。

はたのグループの良さは?

穏やかな方が多く、困り事や悩みなどが相談しやすいです。ピンチの時の対応が早いと思います。


最後に皆様に一言どうぞ

にこここパンが届けるのはパンではなく喜びや感謝です。

はたのグループの事業所 DEPARTMENT INTRODUCTION



1. どのようなことを行っている事業所(部署)ですか？
2. 事業所(部署)の売り・強みは何ですか？
3. 事業所(部署)の雰囲気はどのような感じですか？




居住支援


社会福祉法人 成和会

グループホームせせらぎ

A

1. グループホームとショートステイの2つのサービスを提供しています。障害のある方へ居住・宿泊の場を提供し、生活上の支援を行っています。
2. 生活上の課題や困りごとへの支援に取り組み、安定した生活スキル・生活リズムを身につける等、一人ひとりの目的に沿った支援を行っています。
3. 経験豊かなスタッフが、皆、健康で元気いっぱい働いています。各々が目標を達成し、安心して自由な生活が送れるように職員は見守りながらアットホームな支援を目指しています。






通院治療


医療法人社団 秦和会

子どもメンタルクリニック

A

1. 佐藤喜一郎先生を中心に水・金には各1名の医師も加わり診療を行っています。基本は子どもさんのメンタル診断・治療ですが、初診時、小学生だった方が社会人になっても通院しているケースもあります。
2. 発達障害の診断がMRI画像、発達テスト等により的確に行われています。患者様を中心にご家族様も含めた診療を行い、学校、児童相談所、事業所、児童養護施設等又、秦野病院とも連携を密に図っています。
3. 子どもさんが対象のため、必要な場面ではアニメのDVDを鑑賞できるようにしたり、ぬいぐるみや絵本も用意し、アットホームな雰囲気づくりを心がけています。






入院治療

医療法人社団 秦和会

秦野病院 3病棟

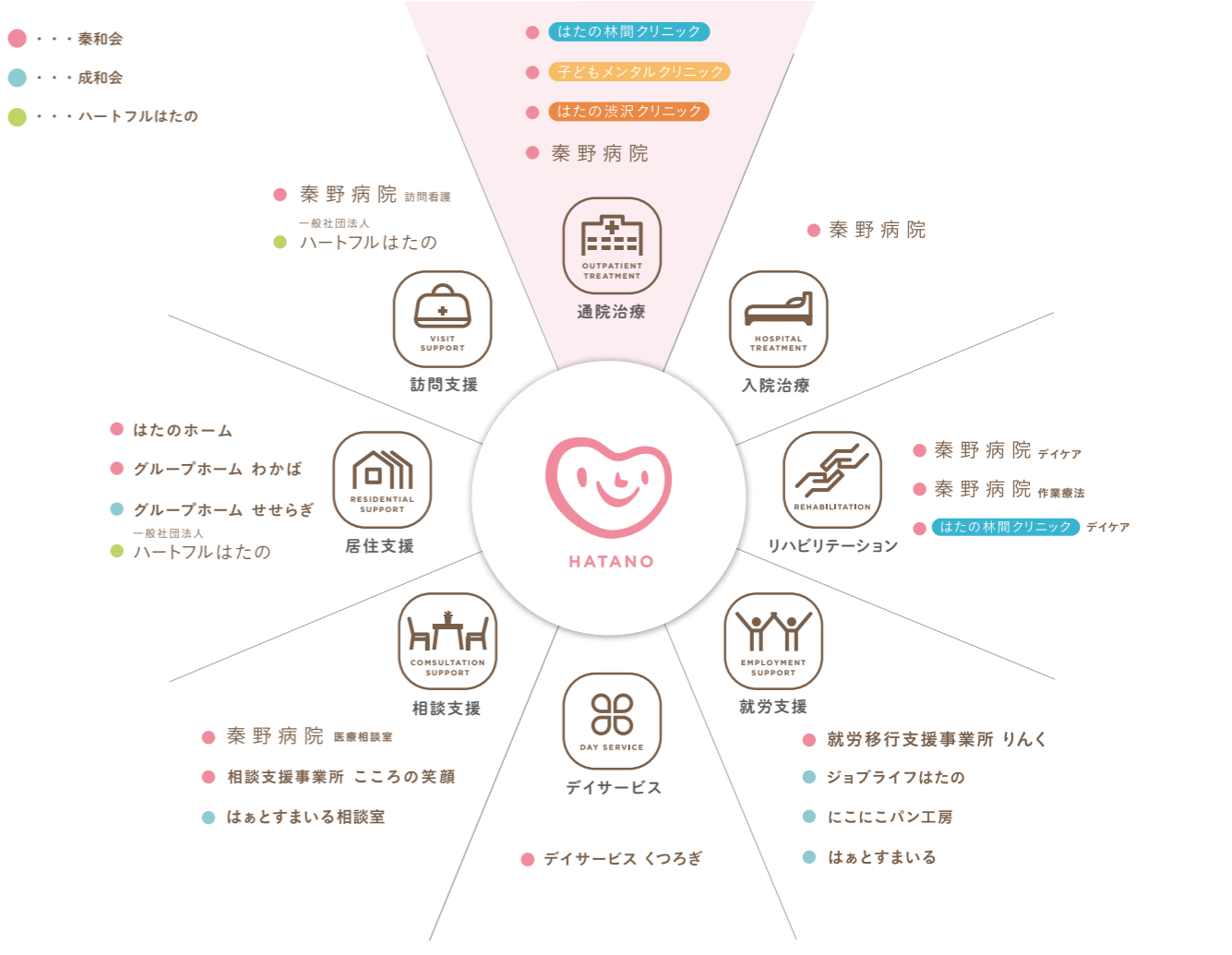
A

1. ご高齢の患者様が多く入院されている病棟です。日常的に介助が必要な方、身体症状を伴う方も多いため。ご自宅への退院や施設入所に向けた看護・介護を提供しています。
2. 他の部署に比べて、看護師の他に介護福祉士、看護助手も多い職場です。看護、介護の連携、また、週4回の内科医の他、作業療法士をはじめとした多くの職種が患者様に関わっていることが強みだと思います。
3. 若いスタッフから経験豊富なスタッフまで年齢(20~60代)が幅広いため、職員それぞれが培ってきた風を運び、病棟内には新鮮な空気が流れています。話題も多岐にわたっており、休憩時には笑いもある和やかな病棟です。



はたのグループのサービス 安心のサポート体制

心の悩みをお持ちの方のためにわたしたちのサービスをご活用下さい。



一診察券が新しくなりました



はたのグループの病院、クリニックでは、医事会計に関わるコンピュータの変更にともない、診察券を一新しました。ご来院の際に受付窓口にて随時新しい診察券に交換していきますので、ご理解・ご協力をお願い致します。

まずは、秦野病院 医療相談室にお問い合わせください。
この他にも地域の社会資源と多様に連携しています。

お問い合わせ **0463-75-0032**